

1 改訂の要点

急速に進展する高齢化に対応した介護人材の育成や介護員養成研修の改正などについて考慮し、福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させるため、〔指導項目〕として「社会福祉の概要」を設けるなど学習内容等の改善・充実を図った。

2 目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、地域や社会の健全で持続可能な福祉社会の発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(育成を目指す資質、能力)

(1) 福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。**(知識及び技術)**

(2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

福祉の見方・考え方とは、生活に関する事象を、当事者の考えや状況、環境の継続性に着目して捉え、人間としての尊厳の保持と自立を目指して、適切かつ効果的な社会福祉と関連付けることを意味している。

目標の(1)については、福祉に関する学習活動を通して、福祉の各事象に関する知識や関係する技術を身に付けるようにすることを意味している。なお、福祉の各事象に関する知識や関係する個別の技術には、社会福祉の理念と意義の理解や、介護・福祉サービスを必要とする人の理解、生活支援に関する技術などを含んでいる。

目標の(2)については、福祉を担う当事者としての意識を高めるとともに、福祉に携わる者として課題に向き合い、科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決し、福祉を通じて未来を切り拓いていくといった、福祉に関する確かな知識、技術、態度などに裏付けられた思考力、判断力、表現力等を養うことを意味している。

目標の(3)については、社会の信頼を得て、福祉を展開する上で必要な職業人に求められる倫理観、福祉を通して社会に貢献する意識、職業人としての優しさや思いやりなどを育むこと、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を目指して福祉の各分野について主体的に学ぶことにより、他者と積極的に関わり、社会貢献に責任をもって取り組む態度を養うことを意味している。

3 内容とその取扱い

(1) 内容の構成及び取扱い

目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、(1)社会福祉の概要、(2)介護・福祉サービス、(3)介護を必要とする人、(4)生活支援の技術の四つの指導項目で内容を構成している。

(内容を扱う際の配慮事項)

〔指導項目〕の(2)から(4)までについては、生徒や地域の実態、学科の特色等に応じて指導項目を選択し、生徒が適切に履修できるようにすることが必要である。

学習指導要領第1章第2節第2款の3の(4)のアの規定に基づき、〔指導項目〕で示していない事項についても、福祉に関する適切な事項があれば取り上げて指導することができる。その〔指導項目〕の選択に当たり考慮すべきこととしては、次の点が挙げられる。

- (ア) 地域の福祉サービスに関する様々な機関との連携の下、見学や調査、実習などの協力が得られるものであること。
- (イ) 抽象的な内容にとどまらず、実習を多く取り入れ体験的な活動ができるものであること。
- (ウ) 生徒の興味・関心や進路などを考慮したものであること。
- (エ) 実習場所に関して長期的に見通しがもてるものであること。

実験・実習を行うに当たっては、関連する法規等に従い、実習室の施設・設備の定期点検と整備を実施し、安全管理や衛生管理を徹底することが必要である。

(2) 内容（解説での構成例）

〔指導項目〕

(1) 社会福祉の概要

ア 社会福祉の意義と役割

イ 社会福祉サービスの基礎

ウ 福祉機器や用具，コンピュータ等の情報機器の取扱い

ここでは，教科の目標を踏まえ，社会福祉サービスが日常生活に深く関わっていることについての知識などを基盤として，社会福祉の意義について自らの考えをもつとともに，組織の一員として社会福祉サービスに取り組もうとする意識と意欲を高めることができるようにすることをねらいとしている。

このねらいを実現するため，次の①から③までの事項を身に付けることができるよう，〔指導項目〕を指導する。

- ① 社会福祉が社会で果たしている意義と役割について理解するとともに，職業生活に必要な技術を生身に付けること。 **（知識及び技術）**
- ② 社会福祉に関する実習を通して地域や社会の健全で持続可能な福祉社会の発展に寄与する職業人となる視点から，よりよい社会福祉サービスの提供をするために必要な課題を発見し，工夫について考え，表現すること。 **（思考力，判断力，表現力等）**
- ③ 社会福祉に係る事項について自ら学び，社会福祉に係る実習等に主体的かつ協働的に取り組むこと。
（学びに向かう力，人間性等）

ア 社会福祉の意義と役割

ここでは，社会福祉が果たしている役割や意義，様々な制度やサービス，社会福祉サービスを必要とする高齢者や障害者などを取り上げ，社会福祉の職業に携わっている人々が社会において重要な役割を果たし，社会福祉サービスが人間の生活と深く関わっていることなどについて扱うこと。

イ 社会福祉サービスの基礎

ここでは，社会福祉の制度や社会福祉サービスに関する様々な職業，社会福祉サービスを必要とする人々，家事援助や介護などの業務を行うに当たっての心構えや知識，その職業で必要とされる技術及びサービス利用者に関する個人情報の収集，整理，管理の方法について扱うこと。

ウ 福祉機器や用具，コンピュータ等の情報機器の取扱い

ここでは，社会福祉サービスで用いられる福祉機器や用具について，名称，目的，用途，操作手順，保管・管理等を取り上げ，福祉機器や用具を適切に使用するための知識と技術について扱うこと。

また，コンピュータ等の情報機器の名称，用途，操作手順，保管・管理等を取り上げ，社会福祉サービス利用者のプライバシー保護及びコンピュータ等の情報機器を適切に使用するための知識と技術について扱うこと。

解説では以降，(2)介護・福祉サービス，(3)介護を必要とする人，(4)生活支援の技術の四つの指導項目で内容を解説しているので参考にされたい。

(3) 指導計画の作成に当たっての配慮事項

解説では，福祉科の指導計画の作成に当たり，生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進めることとし，福祉科の特質に応じて，効果的な学習が展開できるように配慮すべき内容が示されているので参考にされたい。